

資料提供

県北地域における交流・二地域居住施策等の新たな取り組みについて

～ “いばらき さとやま生活” 発信! ～

平成18年10月13日
茨城県企画部地域計画課県北振興室
財団法人グリーンふるさと振興機構

県では、首都圏の団塊の世代等のニーズを捉え、首都圏からの近接性を活かして交流を促進し、県北地域の豊かな自然の中で体験交流や生活等を楽しむライフスタイルを新たに“いばらき さとやま生活”と名付け、新たな交流・二地域居住施策を展開します。

また、県等が出資する(財)グリーンふるさと振興機構では、田舎暮らし相談窓口を新たに設置し交流・二地域居住の推進を図るとともに、グリーン・ツーリズムを推進し、県北地域への誘客を図るため旅行業に進出します。

“いばらき さとやま生活”とは

里山など四季折々の豊かな自然環境に包まれた茨城県北地域において、都市住民が気軽に地域とふれあいながら、安心・快適なスローライフを思い思いに楽しむ悠々自適のライフスタイル

1 交流居住関係

(1) 田舎暮らし相談窓口の設置

・(財)グリーンふるさと振興機構では「田舎暮らし相談窓口」を設置し、田舎暮らしのはじめ方、古民家の紹介等、田舎暮らしに関する相談や情報提供を行います。

(2) 実際に田舎暮らしができる“いばらき さとやま生活”モニターの募集(別添参照)

“いばらきさとやま生活”支援システム研究会を設置し、都市住民が地方での生活に円滑に移行できるようにシステムを構築するため、築75年の空き家を活用した実証実験を行います。

- ・実施場所 : 茨城県久慈郡大子町内
- ・体験期間 : 平成18年～平成19年3月で1～3ヶ月を単位とする期間
- ・参加者負担金 : 30,000円/月(電気、水道、ガス等の使用料金は別途)
- ・募集期間等 : 一次募集 平成18年10月14日(土)～31(火)茨城県外在住者
*平成22年度まで実施し、一次募集終了後も随時募集を行う予定。
- ・申し込み : (財)グリーンふるさと振興機構

(3) “いばらき さとやま生活”倶楽部会員募集

- ・資格等 : “いばらき さとやま生活”をしてみたい。いばらき県北をもっと知りたい方であればどなたでも入会できます。会費は無料。
- ・会員特典 : 会員証、メールマガジンの配信、会員交流イベントの案内、いばらき県北地域の特産品の割引や抽選によるプレゼント 等
- ・申し込み : 住所、氏名、電話・FAX番号、メールアドレスをFAX・e-mailで茨城県地域計画課県北振興室まで連絡。

平成18年10月14日(土)に、「NPOふるさと回帰支援センター」(別添参照)が主催する「ふるさと回帰フェア2006(JAビル(千代田区大手町1-8-3)他)」において、「いばらき さとやま生活”サテライト窓口」を開設し、田舎暮らし相談の他、モニターや、会員の募集を行います。

2 グリーン・ツーリズム関係（旅行業務の取り扱い開始）

（１）（財）グリーンふるさと振興機構では、県北地域の魅力や様々な体験メニューを手配したり、独自の体験型旅行を企画して地域振興を図るため、（株）ＪＴＢ関東から社員の派遣（１０月から）を受けて旅行業務の取扱を開始します（旅行業の登録は現在申請中）。

（２）平成 18 年度予定（お試しツアー等を 10 月下旬から実施）（別添参照）

（ア）ツアー概要

ＪＴＢ関東と連携して、ＴＸを活用したツアーの実施（団塊の世代や主婦・親子を対象）
8 コース，全てＴＸつくば駅発着

・袋田の滝や花貫溪谷の紅葉ウォーキング，りんご狩りなど自然とふれあう農業体験 等
ＪＲ東日本と連携して水郡線を活用したツアーの実施（団塊の世代や主婦・親子を対象）
3 コース

・伝統の西塩子回り舞台鑑賞，地元案内人と歩く紅葉の袋田の滝 等

申し込み：（財）グリーンふるさと振興機構

（イ）今後，圏域内の体験メニューを企画し，首都圏旅行会社，市区教育委員会，企業等への営業活動を行うとともに，体験メニューの充実に努めて参ります。

グリーンふるさと圏：日立市，常陸太田市，高萩市，北茨城市，常陸大宮市，城里町，大子町

連絡先：茨城県企画部地域計画課県北振興室 山本，大畠

TEL 029-301-2725 (FAX 2739)

e-mail chikei2@pref.ibaraki.lg.jp

URL <http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/kikaku/chikei/chikeitop.htm>

（財）グリーンふるさと振興機構 長須，小室

TEL 0294-72-2266 (FAX 7366)

URL <http://www.greenful.jp/>